

学校教育目標	ふるさとを愛し、たくましく生きる松岡っ子の育成
育成を目指す資質・能力	・生きた知識、技能を身に付けた松岡っ子の育成 ・自ら考え、判断し、行動できる松岡っ子の育成 ・平和を愛し、ともに向上しようと挑戦する松岡っ子の育成

	学力状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 【国語】…文章の意図をつかむ 【国語】…語彙を増やす、構成を考えて指定された長さの文章を書く 【算数】…算数用語の意味理解	学習状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・国語、算数への学習意欲や学びの実感。 ・読書量、質の向上。 ・生活体験と学習内容を結び付ける。
児童生徒の課題	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・授業の中で、自分の考えを書く時間や発表する機会を保障したり、個に応じた指導や補充学習をしたりすることにより、基礎・基本の定着を図った。 ・単元末テストの結果、国語「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに到達度が高く、前年度と比較しても全体的に到達度が上がっている。 ・算数「思考・判断・表現」においては、到達度8割未満の学年が多い。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・授業の見通しを黒板に位置付け、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を提示する。 ・学年で学習進度をそろえたり、教材を共有したりして統一した指導をしている。 ・「書くこと」領域にしぼった国語科の授業研究をすることで、書く力の育成を目指している。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・各学年で「書くことに苦手意識をもつ子ども」の数を減らすため、授業だけでなく家庭学習でも取り組んでいる。 ・数年間の児童の実態を踏まえ、同じ系統の単元テストを選定し、比較・分析するための材料としている。 ・大東中学校区で作った「家庭学習のすすめ」を活用し、家庭学習の内容と質について、こどもに指導するとともに、保護者への啓発も行っている。	

学力に関する達成指標
・1学期末に下位層児童(50%未満)の児童の人数と割合を把握し、手立てを考え、学年ごとに決めた目標値を達成する。 ・児童アンケート「1日の授業の中で『分かった』『できた』と思うことがありますか」という設問に対してA評価の児童の割合 80%以上 ・児童アンケート「宿題や自学に取り組んでいますか」という設問に対してA評価の児童の割合 85%以上

	【授業改善】 〈授業改善のテーマ・重点〉 書く力を育成する国語科学習 ～「書くこと」領域における主体的・対話的な学習活動の工夫を通して～	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	〈取組内容〉 互いの考えを深める問いの投げかけや学びの成果を実感する、まとめ・振り返りをした授業展開	〈家庭・地域の取組内容〉 「家庭学習のすすめ」の徹底
	〈取組指標〉 様々な教科で計画的にペアやグループ活動を取り入れる。	〈家庭・地域の取組指標〉 毎日、中学校区で設定した学習時間でじっくり取り組める内容の宿題(国語・算数・音読)を出す。
	〈検証指標〉 児童アンケートにより「1日の授業で『分かった、できた』と思うことがある」と答える児童を80%以上にする。	〈家庭・地域の検証指標〉 保護者アンケートにより「家庭学習の習慣が身に付いている」と肯定的に答える保護者を80%以上にする。
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ・個別学習、補充学習の充実を図り、基礎・基本を定着させる。 ・デジタルドリル等、一人1台端末を使った宿題を出し、家庭学習の充実と情報機器の活用能力を育成する。 ・学校図書館を利用し読書量と語彙力の増加(新聞の活用) ・算数「思考・判断・表現」の苦手分野を把握し、苦手分野への指導の工夫を図る。 ・9年間を見通した系統的な指導を、大東中学校区が一体となって進めていく。	